

## R1 あらきっ子の学力～全国学力・学習状況調査より

「全国学力・学習状況調査」は、国が義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証する目的で実施されています。この結果を受けて、あらきっ子の学力について傾向を分析しました。

### 【国語】

記述式の設定では、正答率が他の項目より高くなっています。特に「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」項目に努力が見られました。「思考し、伝え合うこと」に重点を置いて校内研究に取り組んできた成果が表れていると考えられます。

しかし、漢字を文の中で正しく書くことに課題があります。無解答率も県平均と比べて大幅に低い項目もありました。普段のドリル学習に継続して取り組み、確実な定着を図っていく必要があります。

### 【算数】

「グラフから資料の特徴や傾向を読み取ること」や、「目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすこと」などの項目については、比較的理解度が高い傾向にあります。

しかし、「図形の面積の求め方」、「除法の式の意味」、の項目に課題があります。記述式の問題では無解答率が多く、筋道を立てて考察し表現することや、除法に関して成り立つ性質を言葉で表現することに苦手意識があります。

### 【児童質問紙】

全国と比較して割合の高かった項目について紹介します。

- 自分には、よいところがあると思う。
- 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う。
- 日本や自分が住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う。

この結果を受けて、次のことを重点に取り組んでいきます。

#### <学び合う学習集団を育てる>

国語科を中心に、学習の中で隣同士やグループ間、学級全体での話し合いの活動を多く取り入れ、お互いを認め合いながら、意見を伝え合う場を意図的に設けていきます。学校生活の一部（行事等）をふり返り、その様子を短作文や俳句にする機会を設けたり、子ども達の実態に合わせ互いに学び合う場を設定したりしながら、引き続き校内研修を積み重ねていきます。

#### <発展的・応用的な授業への改善>

ノート指導に重点を置き、学習中の思考の流れがわかるように記録し、より理解が深まるようにしていきます。1時間の中に基礎的な内容と応用的な内容を取り入れた学習計画を立てて実践していきます。

#### <あらきっ子タイムの活用>

漢字・計算・語彙力等の基礎基本定着を図り、表現力等のスキルを大切にしながら、さらに学力向上を図っていきます。

家庭での学習習慣・読書習慣や、「早寝・早起き・朝ごはん」といったリズムのある規則正しい生活が、今後の新木小の子ども達の学力向上につながっていきます。ご家庭でのご理解、ご協力をお願いいたします。